



過疎地に居住する要介護認定高齢者の医療費・介護費を含むヘルスケアコストに関する要因

財団法人日本バプテスト連盟医療団
総合病院日本バプテスト病院 看護師

秋山 直美

【スライド-1】

はじめに貴重な研究助成をいただきましたことを御礼申し上げます。
この助成をいただいた折は東京大学大学院の博士課程に在籍しておりましたが、4月より日本バプテスト病院に看護師として勤務しております。

【スライド-2】

今日、医療・介護を巡る制度上の課題には、高齢者にかかる医療費や介護施設のサービス費が高騰していること、介護保険法の施行後も介護者の介護負担は軽減されていないこと、高齢者の増加と核家族化の進展により独居世帯者は年々増加していること等が挙げられます。過疎地での高齢化の問題は深刻化しており、医療費、介護費の増大が自治体の財政を圧迫している状況であります。我が国では過疎地域が全国の自治体の約半数を占めるにもかかわらず、過疎地に関する研究報告が数少ないのが現状であります。特に、インフォーマルケアがヘルスケアサービスコストに与える影響についてはほとんど報告されておらず、検討する必要があると考えます。

【スライド-3】

そこで本研究は、過疎地に位置する一自治体をフィールドとし、そこに居住する要介護認定高齢者全員を対象に、医療費と介護費ならびに医療費と介護費の合算額を含むヘルス

スライド-1

過疎地に居住する要介護認定高齢者の医療費・介護費を含むヘルスケアコストに関する要因の検討

財団法人 日本バプテスト連盟医療団
総合病院 日本バプテスト病院
秋山 直美

スライド-2

背景

- 高齢者の医療費や介護施設サービス費の高騰
 - 介護保険以後も軽減されない介護負担
 - 独居世帯の増加
 - 過疎地で深刻化する高齢化問題
 - インフォーマルケアのヘルスケアコストへの影響
- 医療費と介護費を個人単位で突合したヘルスケアコストの分析が必要

ケアコストの実態を調査し、ヘルスケアコストへの影響要因について検討することにいたしました。

【スライド-4】

方法です。

調査地域は研究協力の得られた北海道A市としました。A市は、人口31,000人、高齢化率25%の1自治体です。内陸性気候の豪雪地域で、比較的交通の便のよい地域であるといえます。医療・介護サービスに関しては、医療と介護サービスの提供体制がほぼ整っている地域です。

【スライド-5】

次に、調査方法とデータの突合方法についてですが、調査は、医療・介護のレセプト等に関する調査と、施設スタッフ・ケアマネージャーに対する質問紙調査を行いました。

対象は2009年12月時点で介護保険サービスを利用し、且つ、国民健康保険被保険者または後期高齢者医療制度対象者である者としました。

医療保険については、医科入院、医科入院外、調剤、歯科のレセプトを含んでおります。介護保険に関しては、被保険者の所得に応じて介護保険料率を課した介護保険料段階に関する情報と、要介護認定調査の結果、介護保険のレセプトが含まれております。

介護保険で用いられる、世帯コード、生年月日、性別、後期高齢者医療保険制度被保険者番号、介護保険被保険者番号によって、医療保険と介護保険のレセプトデータを個人ごとに突合いたしました。

スライド-3

目的

過疎地に位置する一自治体を調査対象とし、医療費・介護費を含むヘルスケアコストを最も消費すると考えられる要介護認定高齢者のヘルスケアコストへの影響要因を検討する

スライド-4

方法1 調査地域概要

□ 調査地域: 北海道A市

□ 人口 3万1千人 高齢化率25%

□ 自然条件

- 最高気温30.9度、最低気温マイナス30.1度
- 豪雪地域対策特別措置法、最深積雪深さ104cm
- 内陸性気候・豪雪地帯

□ 地理的条件

- 札幌まで車で3.5時間、旭川まで1.5時間
- 比較的交通の便がよい

□ 医療・介護状況

- 市立総合病院と民間病院: 計4病院 一般診療所: 計10施設
- ・小規模多機能型居宅介護施設・有料老人ホーム以外の全ての介護保険事業所がある
- 過疎地域自立促進特別措置法に該当する過疎地域ではあるが、医療と介護サービスの提供体制が整っている

スライド-5

方法2 調査方法とデータの突合方法

- ・レセプト等調査と施設スタッフ・ケアマネージャーに対する質問紙調査
- ・2009年12月時点で介護保険サービスを利用し、且つ、国保被保険者・後期高齢者医療制度対象者である者

医療保険

国保・診療報酬明細書
(レセプト)
・医科入院・医科入院外
・調剤
・歯科

後期高齢者医療制度
診療報酬明細書
(レセプト)
・医科入院・医科入院外
・調剤
・歯科

介護保険

世帯コード
(記号・番号)
生年月日
性別
後期高齢者
医療制度
被保険者番号
介護保険
被保険者番号

介護保険料段階の情報
要介護認定調査結果
介護給付管理データ
(レセプト)
・居宅サービス
・地域密着型サービス
・施設サービス
調査票
・世帯構成
・介護状況など

【スライド-6】

分析方法ですが、15日以上の滞在先を療養場所とした群間比較やヘルスケアコストに関する要因を、本報告ではリンク関数をlogとした一般化線形モデルを用いて分析した結果をお示しいたします。

【スライド-7】

対象者ですが、871名のうち、調査票の返信は827名分、有効回答は810名でした。

平均年齢84歳で、女性が7割を占めていました。

療養場所別にみると、在宅では他の療養場所に比べて平均年齢、要介護度、認知症度、寝たきり度が低く、所得段階が高いという傾向が見られました。

【スライド-8】

次に療養場所別のヘルスコストですが、全体のヘルスコストは医療費は中央値が33,000円程度、介護費は97,000円、医療費と介護費の合算額は163,000円でした。

在宅では、他の療養場所に比べて大幅に介護費が低いので、医療費と介護費の合算額も低いという結果が得られました。

【スライド-9】

このスライドでは、ヘルスケアコストを従属変数とした一般化線形モデルの結果をお示します。

医療費は、既婚に比べて、未婚、離婚、死別であるほど有意に増加するという関連が見られました。

介護費は、概ね所得段階が上がるほど、また世帯構成が大きくなるほど有意に減少し、認知症度、寝たきり度が重度になるほど有意に増加するという傾向が見られました。

スライド-6

方法3 分析方法と倫理的配慮

□ 分析方法

- 対象者の特徴を明らかにするため、療養場所間の群間比較
→一元配置分散分析、 χ^2 乗検定、Kruscal-Wallis順位和検定等
- ヘルスケアコスト(医療費・介護費・医療費と介護費の合算額)に関する要因を検討
→従属変数をヘルスケアコスト、
独立変数を個人要因、社会経済的要因、精神・身体的要因、
社会支援要因としたリンク関数をLogとした一般化線形モデル

- 統計解析パッケージJMP 8.02とStata/IC 11.0を用い、
有意水準は5%とした

□ 倫理的配慮

- 本調査の実施に当たっては、
東京大学大学院医学系研究科倫理委員会(受付番号1790)の
承認を得て行っている

6

スライド-7

結果1

	療養場所				p 値 ^{a)}
	数	在宅	居住系施設	介護保険施設	
個人要因					
性別	mean±SD n=810	44.4±7.3 n=552	83.4±6.9 n=30	82.7±5.5 n=233	*** ^{b)}
性別	女性	240 (29.6)	182 (21.0)	7 (23.3)	51 (21.9)
性別	男性	570 (70.4)	370 (61.0)	23 (76.7)	177 (78.1)
社会経済的要因					
年齢	mean±SD n=810	385 (47.5)	219 (39.7)	11 (36.7)	155 (46.5)
年齢	17才未満	270 (32.3)	201 (26.4)	12 (43.3)	56 (24.0)
年齢	18才～64才	517 (9.3)	43 (11.4)	3 (6.7)	17 (5.2)
年齢	65才以上	27 (3.3)	23 (4.2)	1 (3.3)	3 (1.3)
・療養場所					
年齢	mean±SD n=810	265 (32.7)	203 (26.8)	5 (16.7)	57 (24.5)
年齢	在宅	345 (81.3)	249 (63.2)	25 (83.2)	171 (74.4)
・療養場所別属性					
年齢	mean±SD n=810	175 (15.1)	115 (20.8)	0 (0.0)	7 (3.0)
年齢	17才未満	181 (22.3)	147 (49.3)	0 (0.0)	19 (10.0)
年齢	18才～64才	323 (41.1)	222 (40.2)	17 (56.7)	94 (40.3)
年齢	65才以上	127 (15.7)	48 (8.7)	8 (26.7)	71 (30.5)
年齢	平均±SD	47 (5.8)	35 (9.9)	5 (16.7)	37 (15.9)
・療養場所別属性					
年齢	mean±SD n=810	209 (25.8)	198 (26.9)	4 (13.3)	7 (3.0)
年齢	在宅	372 (46.6)	245 (32.9)	24 (80.0)	62 (26.8)
年齢	居住系施設	137 (27.3)	94 (30.0)	0 (0.0)	10 (4.3)
年齢	介護保険施設	58 (7.3)	11 (7.0)	0 (0.0)	47 (20.2)
医療施設の合計数					
に有意差あり	mean±SD n=810	209 (25.8)	198 (26.9)	4 (13.3)	7 (3.0)
に有意差あり	在宅	372 (46.6)	245 (32.9)	24 (80.0)	62 (26.8)
に有意差あり	居住系施設	137 (27.3)	94 (30.0)	0 (0.0)	10 (4.3)
に有意差あり	介護保険施設	58 (7.3)	11 (7.0)	0 (0.0)	47 (20.2)
医療施設の合計数					
に有意差あり	mean±SD n=810	0.1±0.3	0.03±0.2	0.03±0.2	0.2±0.5
社会経済的要因					
年齢	mean±SD n=810	242 (30.8)	163 (29.5)	14 (46.7)	66 (28.3)
年齢	17才未満	177 (21.9)	123 (23.3)	5 (16.7)	49 (21.0)
年齢	18才～64才	276 (32.3)	193 (30.0)	9 (30.0)	100 (43.3)
年齢	65才以上	120 (15.4)	83 (15.4)	2 (6.7)	33 (14.2)
年齢	平均±SD	1.4±1.4	1.4±1.4	1.0±1.2	1.2±1.2
年齢	年齢	1.3±0.8	1.3±0.8	1.2±0.8	1.2±0.8
年齢	年齢	—	2.6±2.6	—	—
・療養場所別属性					
年齢	mean±SD n=810	242 (30.8)	163 (29.5)	14 (46.7)	66 (28.3)
年齢	在宅	372 (46.6)	245 (32.9)	24 (80.0)	62 (26.8)
年齢	居住系施設	137 (27.3)	94 (30.0)	0 (0.0)	10 (4.3)
年齢	介護保険施設	58 (7.3)	11 (7.0)	0 (0.0)	47 (20.2)
医療施設の合計数					
に有意差あり	mean±SD n=810	0.1±0.3	0.03±0.2	0.03±0.2	0.2±0.5
注1) 不参加は除外して分析した。 注2) n=810は除外して分析した。 注3) n=810は除外して分析した。 注4) n=810は除外して分析した。 注5) n=810は除外して分析した。 注6) n=810は除外して分析した。 注7) n=810は除外して分析した。 注8) n=810は除外して分析した。 注9) n=810は除外して分析した。 注10) n=810は除外して分析した。 注11) n=810は除外して分析した。 注12) n=810は除外して分析した。 注13) n=810は除外して分析した。 注14) n=810は除外して分析した。 注15) n=810は除外して分析した。 注16) n=810は除外して分析した。 注17) n=810は除外して分析した。 注18) n=810は除外して分析した。 注19) n=810は除外して分析した。 注20) n=810は除外して分析した。 注21) n=810は除外して分析した。 注22) n=810は除外して分析した。 注23) n=810は除外して分析した。 注24) n=810は除外して分析した。 注25) n=810は除外して分析した。 注26) n=810は除外して分析した。 注27) n=810は除外して分析した。 注28) n=810は除外して分析した。 注29) n=810は除外して分析した。 注30) n=810は除外して分析した。 注31) n=810は除外して分析した。 注32) n=810は除外して分析した。 注33) n=810は除外して分析した。 注34) n=810は除外して分析した。 注35) n=810は除外して分析した。 注36) n=810は除外して分析した。 注37) n=810は除外して分析した。 注38) n=810は除外して分析した。 注39) n=810は除外して分析した。 注40) n=810は除外して分析した。 注41) n=810は除外して分析した。 注42) n=810は除外して分析した。 注43) n=810は除外して分析した。 注44) n=810は除外して分析した。 注45) n=810は除外して分析した。 注46) n=810は除外して分析した。 注47) n=810は除外して分析した。 注48) n=810は除外して分析した。 注49) n=810は除外して分析した。 注50) n=810は除外して分析した。 注51) n=810は除外して分析した。 注52) n=810は除外して分析した。 注53) n=810は除外して分析した。 注54) n=810は除外して分析した。 注55) n=810は除外して分析した。 注56) n=810は除外して分析した。 注57) n=810は除外して分析した。 注58) n=810は除外して分析した。 注59) n=810は除外して分析した。 注60) n=810は除外して分析した。 注61) n=810は除外して分析した。 注62) n=810は除外して分析した。 注63) n=810は除外して分析した。 注64) n=810は除外して分析した。 注65) n=810は除外して分析した。 注66) n=810は除外して分析した。 注67) n=810は除外して分析した。 注68) n=810は除外して分析した。 注69) n=810は除外して分析した。 注70) n=810は除外して分析した。 注71) n=810は除外して分析した。 注72) n=810は除外して分析した。 注73) n=810は除外して分析した。 注74) n=810は除外して分析した。 注75) n=810は除外して分析した。 注76) n=810は除外して分析した。 注77) n=810は除外して分析した。 注78) n=810は除外して分析した。 注79) n=810は除外して分析した。 注80) n=810は除外して分析した。 注81) n=810は除外して分析した。 注82) n=810は除外して分析した。 注83) n=810は除外して分析した。 注84) n=810は除外して分析した。 注85) n=810は除外して分析した。 注86) n=810は除外して分析した。 注87) n=810は除外して分析した。 注88) n=810は除外して分析した。 注89) n=810は除外して分析した。 注90) n=810は除外して分析した。 注91) n=810は除外して分析した。 注92) n=810は除外して分析した。 注93) n=810は除外して分析した。 注94) n=810は除外して分析した。 注95) n=810は除外して分析した。 注96) n=810は除外して分析した。 注97) n=810は除外して分析した。 注98) n=810は除外して分析した。 注99) n=810は除外して分析した。 注100) n=810は除外して分析した。 注101) n=810は除外して分析した。 注102) n=810は除外して分析した。 注103) n=810は除外して分析した。 注104) n=810は除外して分析した。 注105) n=810は除外して分析した。 注106) n=810は除外して分析した。 注107) n=810は除外して分析した。 注108) n=810は除外して分析した。 注109) n=810は除外して分析した。 注110) n=810は除外して分析した。 注111) n=810は除外して分析した。 注112) n=810は除外して分析した。 注113) n=810は除外して分析した。 注114) n=810は除外して分析した。 注115) n=810は除外して分析した。 注116) n=810は除外して分析した。 注117) n=810は除外して分析した。 注118) n=810は除外して分析した。 注119) n=810は除外して分析した。 注120) n=810は除外して分析した。 注121) n=810は除外して分析した。 注122) n=810は除外して分析した。 注123) n=810は除外して分析した。 注124) n=810は除外して分析した。 注125) n=810は除外して分析した。 注126) n=810は除外して分析した。 注127) n=810は除外して分析した。 注128) n=810は除外して分析した。 注129) n=810は除外して分析した。 注130) n=810は除外して分析した。 注131) n=810は除外して分析した。 注132) n=810は除外して分析した。 注133) n=810は除外して分析した。 注134) n=810は除外して分析した。 注135) n=810は除外して分析した。 注136) n=810は除外して分析した。 注137) n=810は除外して分析した。 注138) n=810は除外して分析した。 注139) n=810は除外して分析した。 注140) n=810は除外して分析した。 注141) n=810は除外して分析した。 注142) n=810は除外して分析した。 注143) n=810は除外して分析した。 注144) n=810は除外して分析した。 注145) n=810は除外して分析した。 注146) n=810は除外して分析した。 注147) n=810は除外して分析した。 注148) n=810は除外して分析した。 注149) n=810は除外して分析した。 注150) n=810は除外して分析した。 注151) n=810は除外して分析した。 注152) n=810は除外して分析した。 注153) n=810は除外して分析した。 注154) n=810は除外して分析した。 注155) n=810は除外して分析した。 注156) n=810は除外して分析した。 注157) n=810は除外して分析した。 注158) n=810は除外して分析した。 注159) n=810は除外して分析した。 注160) n=810は除外して分析した。 注161) n=810は除外して分析した。 注162) n=810は除外して分析した。 注163) n=810は除外して分析した。 注164) n=810は除外して分析した。 注165) n=810は除外して分析した。 注166) n=810は除外して分析した。 注167) n=810は除外して分析した。 注168) n=810は除外して分析した。 注169) n=810は除外して分析した。 注170) n=810は除外して分析した。 注171) n=810は除外して分析した。 注172) n=810は除外して分析した。 注173) n=810は除外して分析した。 注174) n=810は除外して分析した。 注175) n=810は除外して分析した。 注176) n=810は除外して分析した。 注177) n=810は除外して分析した。 注178) n=810は除外して分析した。 注179) n=810は除外して分析した。 注180) n=810は除外して分析した。 注181) n=810は除外して分析した。 注182) n=810は除外して分析した。 注183) n=810は除外して分析した。 注184) n=810は除外して分析した。 注185) n=810は除外して分析した。 注186) n=810は除外して分析した。 注187) n=810は除外して分析した。 注188) n=810は除外して分析した。 注189) n=810は除外して分析した。 注190) n=810は除外して分析した。 注191) n=810は除外して分析した。 注192) n=810は除外して分析した。 注193) n=810は除外して分析した。 注194) n=810は除外して分析した。 注195) n=810は除外して分析した。 注196) n=810は除外して分析した。 注197) n=810は除外して分析した。 注198) n=810は除外して分析した。 注199) n=810は除外して分析した。 注200) n=810は除外して分析した。 注201) n=810は除外して分析した。 注202) n=810は除外して分析した。 注203) n=810は除外して分析した。 注204) n=810は除外して分析した。 注205) n=810は除外して分析した。 注206) n=810は除外して分析した。 注207) n=810は除外して分析した。 注208) n=810は除外して分析した。 注209) n=810は除外して分析した。 注210) n=810は除外して分析した。 注211) n=810は除外して分析した。 注212) n=810は除外して分析した。 注213) n=810は除外して分析した。 注214) n=810は除外して分析した。 注215) n=810は除外して分析した。 注216) n=810は除外して分析した。 注217) n=810は除外して分析した。 注218) n=810は除外して分析した。 注219) n=810は除外して分析した。 注220) n=810は除外して分析した。 注221) n=810は除外して分析した。 注222) n=810は除外して分析した。 注223) n=810は除外して分析した。 注224) n=810は除外して分析した。 注225) n=810は除外して分析した。 注226) n=810は除外して分析した。 注227) n=810は除外して分析した。 注228) n=810は除外して分析した。 注229) n=810は除外して分析した。 注230) n=810は除外して分析した。 注231) n=810は除外して分析した。 注232) n=810は除外して分析した。 注233) n=810は除外して分析した。 注234) n=810は除外して分析した。 注235) n=810は除外して分析した。 注236) n=810は除外して分析した。 注237) n=810は除外して分析した。 注238) n=810は除外して分析した。 注239) n=810は除外して分析した。 注240) n=810は除外して分析した。 注241) n=810は除外して分析した。 注242) n=810は除外して分析した。 注243) n=810は除外して分析した。 注244) n=810は除外して分析した。 注245) n=810は除外して分析した。 注246) n=810は除外して分析した。 注247) n=810は除外して分析した。 注248) n=810は除外して分析した。 注249) n=810は除外して分析した。 注250) n=810は除外して分析した。 注251) n=810は除外して分析した。 注252) n=810は除外して分析した。 注253) n=810は除外して分析した。 注254) n=810は除外して分析した。 注255) n=810は除外して分析した。 注256) n=810は除外して分析した。 注257) n=810は除外して分析した。 注258) n=810は除外して分析した。 注259) n=810は除外して分析した。 注260) n=810は除外して分析した。 注261) n=810は除外して分析した。 注262) n=810は除外して分析した。 注263) n=810は除外して分析した。 注264) n=810は除外して分析した。 注265) n=810は除外して分析した。 注266) n=810は除外して分析した。 注267) n=810は除外して分析した。 注268) n=810は除外して分析した。 注269) n=810は除外して分析した。 注270) n=810は除外して分析した。 注271) n=810は除外して分析した。 注272) n=810は除外して分析した。 注273) n=810は除外して分析した。 注274) n=810は除外して分析した。 注275) n=810は除外して分析した。 注276) n=810は除外して分析した。 注277) n=810は除外して分析した。 注278) n=810は除外して分析した。 注279) n=810は除外して分析した。 注280) n=810は除外して分析した。 注281) n=810は除外して分析した。 注282) n=810は除外して分析した。 注283) n=810は除外して分析した。 注284) n=810は除外して分析した。 注285) n=810は除外して分析した。 注286) n=810は除外して分析した。 注287) n=810は除外して分析した。 注288) n=810は除外して分析した。 注289) n=810は除外して分析した。 注290) n=810は除外して分析した。 注291) n=810は除外して分析した。 注292) n=810は除外して分析した。 注293) n=810は除外して分析した。 注294) n=810は除外して分析した。 注295) n=810は除外して分析した。 注296) n=810は除外して分析した。 注297) n=810は除外して分析した。 注298) n=810は除外して分析した。 注299) n=810は除外して分析した。 注300) n=810は除外して分析した。 注301) n=810は除外して分析した。 注302) n=810は除外して分析した。 注303) n=810は除外して分析した。 注304) n=810は除外して分析した。 注305) n=810は除外して分析した。 注306) n=810は除外して分析した。 注307) n=810は除外して分析した。 注308) n=810は除外して分析した。 注309) n=810は除外して分析した。 注310) n=810は除外して分析した。 注311) n=810は除外して分析した。 注312) n=810は除外して分析した。 注313) n=810は除外して分析した。 注314) n=810は除外して分析した。 注315) n=810は除外して分析した。 注316) n=810は除外して分析した。 注317) n=810は除外して分析した。 注318) n=810は除外して分析した。 注319) n=810は除外して分析した。 注320) n=810は除外して分析した。 注321) n=810は除外して分析した。 注322) n=810は除外して分析した。 注323) n=810は除外して分析した。 注324) n=810は除外して分析した。 注325) n=810は除外して分析した。 注326) n=810は除外して分析した。 注327) n=810は除外して分析した。 注328) n=810は除外して分析した。 注329) n=810は除外して分析した。 注330) n=810は除外して分析した。 注331) n=810は除外して分析した。 注332) n=810					

医療費と介護費の合算額には、認知症度・寝たきり度が関連しておりました。

【スライド-10】

次に、在宅療養者に限り、ヘルスケアコストを従属変数とした一般化線形モデルの結果です。

医療費は、年齢が高くなるほど、性別が女性に比べて男性であるほど有意に減少し、既婚に比べて未婚、離婚、死別であるほど高くなるという関連が見られました。

また、介護費は、年齢が高くなるほど、世帯構成が大きくなるほど、無償の介護時間が長くなるほど、有意に減少し、認知症度、寝たきり度が高くなるほど有意に増加するという関連が見られました。

【スライド-11】

考察です。

まず、調査についてですが、質問紙調査も高い回答率であり、調査対象者の実情を反映できたと言えます。

対象者の特徴ですが、要介護認定高齢者の要介護度別構成割合は全国と類似しており、概ね全国と同様の傾向を示していた地域と言えます。

【スライド-12】

まとめです。

本研究では、医療保険制度と介護保険制度が所有するパネルデータと、両制度が所有していないインフォーマルケア等についての質問紙調査のデータを統合することによって、対象者に関する医療と介護の詳細な情報を得ることができました。

本研究の結果から、ヘルスケアコストへは認知症度・寝たきり度・世帯構成が影響していることが示唆されました。

スライド-9

結果3-① 全体

ヘルスケアコストを従属変数とした一般化線形モデル

・医療費には、婚姻状況が有意に関連

・介護費には、所得段階・認知症度・寝たきり度・世帯構成が有意に関連

・合算額には、認知症度・寝たきり度が有意に関連

・社会支障度

・無償の介護時間

・社会支障度の合計数

・社会支障度

・無償の介護時間

<p

特に、ヘルスケアコストのうち介護費への社会支援要因の影響は大きく、世帯構成が小さくなるほど介護費は高くなることが明らかになりました。

高齢者の増加に伴う独居世帯の増加により、世帯構成は縮小することが予想され、結果として、介護費のさらなる増大が招かれる可能性があることが示唆されました。

スライド-12

まとめ

- ・本研究では、医療保険制度と介護保険制度が所有するパネルデータと、両制度が所有していないインフォーマルケア等についての質問紙調査のデータを突合することによって、対象者に関する医療と介護の詳細な情報が得られた
- ・本研究の結果から、ヘルスケアコストへは認知症度・寝たきり度・世帯構成が影響していることが示唆された。
- 特に、ヘルスケアコストのうち介護費への社会支援要因の影響は大きく、世帯構成が小さくなるほど介護費は高くなることが明らかになった。
- ・高齢者の増加に伴う独居世帯の増加に伴い、世帯構成は縮小することが予想され、結果として、介護費のさらなる増大が招かれる可能性があることが示唆された。

32

質疑応答

会場： 2つ伺いたいのですが、一つは、「婚姻状況」というのは、要するに、お年寄りの奥様かご主人が生きている方が介護力が大きいからお金がかからないと、そういうふうに解釈していいのですか？

秋山： 今回のデータに関しては、社会支援のファクターとして「婚姻状況」と「無償の看護時間」を独立変数として扱っています。

会場： では、残った方が介護にまわるというわけではないですね。

秋山： はい、そうです。

会場： それともう一つ、医療費と介護費というのはだいたいパラレルと考えてよろしいのですか。先生の発表をお聞きしていると、全く違う要因みたいに聞こえたのですが。

秋山： この研究の対象者では、医療費と介護費が並行して使われるというよりも、代替性のある使い方がされているという印象を持ちました。

会場： 論理的に考えると一緒のような気がしますけれども、現場で先生がご覧になると乖離があると、そういうふうに解釈していいということですね。有り難うございました。

会場： 非常に面白い研究だと思います。全体とすれば今出された結果なのでしょうけれども、その地域で、医療費あるいは療養費が非常に抑えられているというようなモデル群が抽出できた、あるいは、これがモデルになるのではないかというようなものが何か抽出できたか、あるいは紹介できる要因があったか、教えてください。

秋山： 所得段階というのが、サービスの利用状況にとても大きく効いているということがわかりました。医療費や介護費が最も抑えられている群は、療養場所でみると「在宅」でした。ここでは示していない結果ですが、3年間療養場所が「在宅」である群は他群に比べて、所得段階が高いことがわかりました。特に、所得段階の最も高い第6段階という群が、医療費も介護費もよく消費していました。年金が200万円以上の世帯で、全体が6%ですが、サービスを非常に上手く使っている印象を受けました。